

バドミントン・キャラバン 2018 徳島会場
全国巡回バドミントン講習会

オリンピック学習「オリンピックからのメッセージ」 オリンピアン 岩城ハルミさん

13:00~14:10

4年に一度開催される「スポーツの祭典」であるオリンピックの理念は、「スポーツを通して文化や国籍などの違いを越え、フェアプレイの精神を培い、平和でより良い世界を目指す」ことです。今回は、バルセロナオリンピックに出場された岩城ハルミさんから、オリンピックに参加された経験をもとにアスリートから見たオリンピックの印象やその魅力、そして参加して得たこと、これからのオリンピックに期待することなどについてお聞きしながら、オリンピックについて考えていきましょう。

自分にとってのオリンピックとは：

- バルセロナ大会に参加したオリンピックのそれぞれの思い出
- オリンピックを目指すようになったきっかけなど

オリンピックの意義：

- オリンピックと他の大会の違い、オリンピックに参加して得たこと
- 近代オリンピック開催の目的である「オリンピズム」と「オリンピックムーブメント」

これからのオリンピックに期待すること：

- ライバル同士の友情や尊敬の気持ちと世界平和への期待

《講師のプロフィール》

岩城 ハルミ（いわき・はるみ 旧姓：鴻原）

女子シングルスと女子ダブルスで1992年バルセロナ大会に出場。

女子ダブルスはベスト16。

1965年生まれ 大阪府出身

四條畷学園中学校1年生からバドミントンを始める。

1982年 国体優勝，インターハイ優勝（シングルス）

1983年 国体優勝，インターハイ優勝（シングルス，ダブルス）

1984年 インカレ優勝（シングルス，ダブルス）

1985年 インカレ優勝（シングルス，団体）

1986年 アジア大会準優勝

1989年 全日本総合第3位（シングルス）

1991年 全日本社会人優勝（ダブルス），準優勝（ダブルス）

1992年 バルセロナオリンピック出場



スポーツ人材バンク アスリート.com より